

2021年10月の自動車用タイヤ・エンジンオイル・バッテリー販売速報

GfK Japan（東京：中野区）は、全国のカー用品店、タイヤ専門店、ガソリンスタンド、ホームセンター、インターネットの販売実績データを元に市場規模相当に拡大推計した自動車用タイヤ、エンジンオイル、バッテリーの販売速報を公表した。

■タイヤ

2021年10月の自動車用タイヤ販売は、本数前年比4%増と堅調であった。店頭が同6%増、インターネットが同2%増とともにプラス成長であった。冬タイヤの販売が本数前年比13%増と好調で、特に店頭では同17%増に達した。サイズ別の販売動向をみると、最も販売本数の多い155/65/14が本数前年比12%増と好調であった。主要なSUVサイズである225/65/17も同12%増と二桁成長を見せ、店頭では同26%増と大きく伸長した。タイヤ全体の税抜き平均価格は10,194円と前年同月から5%上昇し、店頭、インターネットともにこの傾向が見られた。この結果、金額前年比は9%増となり、店頭では同11%増、インターネットでは同7%増であった。

販売本数前年比



販売金額前年比



税抜き平均価格



■エンジンオイル

2021年10月の自動車用エンジンオイル販売は、販売量（リットル換算）ベースで前年比1%減と低調で、店頭、インターネットともにマイナス成長であった。粘度別にみると、最も販売量が多い0W-20は前年比2%増で、0W-16が前年同月から大きく伸長し、同47%増に達した。1リットル当たりの平均価格は709円と前年同月から2%上昇し、店頭では2%、インターネットでは3%上昇した。この結果、金額前年比は0.5%増と微増で、店頭では同0.4%増、インターネットでは同1%増であった。

販売量（リットル換算） 前年比



-1%

販売金額前年比



+0.5%

税抜き平均価格



+2%

■ バッテリー

2021年10月の自動車用バッテリー販売は、数量前年比5%増と堅調であった。ただ店頭、インターネット別にみると、店頭では同0.5%減と微減であった一方、インターネットでは同17%増と二桁成長であった。ハイブリッド車向け製品、アイドリングストップ車向け製品の販売が好調で、ともに数量前年比14%増に達した。バッテリー全体の平均価格は12,099円と前年同月から2%上昇した。店頭では4%上昇したことに対し、インターネットでは横ばいであった。この結果、金額前年比は7%増となり、店頭では4%増、インターネットでは17%増であった。

販売数量前年比



+5%

販売金額前年比



+7%

税抜き平均価格



+2%

- タイヤはカー用品店、タイヤ専門店（メーカー系列を除く）、ガソリンスタンド、インターネットを集計対象としております。
- エンジンオイル及びバッテリーはカー用品店、ガソリンスタンド、ホームセンター、インターネットを集計対象としております。

本リリースに関するお問い合わせ先

GfK Japan
マーケティングコミュニケーション
Email : info.jp@gfk.com
www.gfk.com/jp/